



西洋シャクナゲ

《常緑広葉樹》

シャクナゲの英名は「Rhododendron」で、ギリシャ語の「rhodon(赤いバラ)」と「dendron(木)」が由来とされています。シャクナゲの英名を直訳すると、「赤いバラに似た花が咲く木」となります。

●ツツジ科 ●ツツジ属 ●陰樹 ●別名/ロードデンドロン

特徴

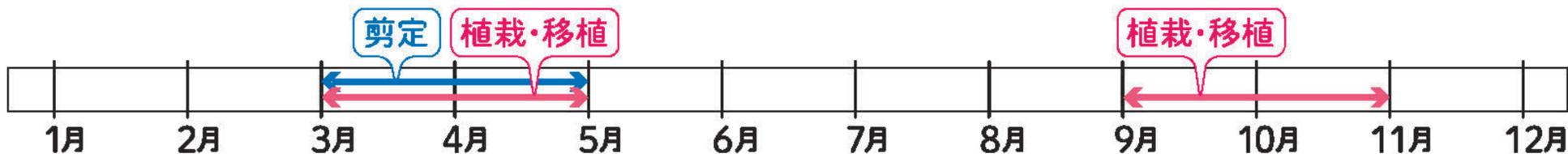
日本の高山に自生するシャクナゲ。春から初夏にかけて枝先に豪華な花が咲きます。ヨーロッパで改良された西洋シャクナゲは花色が豊富で樹形が大きくなります。

植栽・移植

移植は3～4月と9～10月。日当たり・水はけ・風通しが良く、腐植質に富んだ場所に植えます。

管理・剪定

剪定は3～4月。放っておいても樹形が整うので、花後に花がらを摘み、不要な枝を剪定する程度で十分です。



上手に大きく育てましょう!

苗木の育て方

① 水やり

苗木をもらってポットの
水が乾いていたら
たっぷり水をあげましょう!



③ 水やり

植え替え後、たっぷり
水をあげましょう!
鉢植えの後は、
受け皿に水を
ためないように注意!



② 植え替え

1週間以内に植え替えましょう!

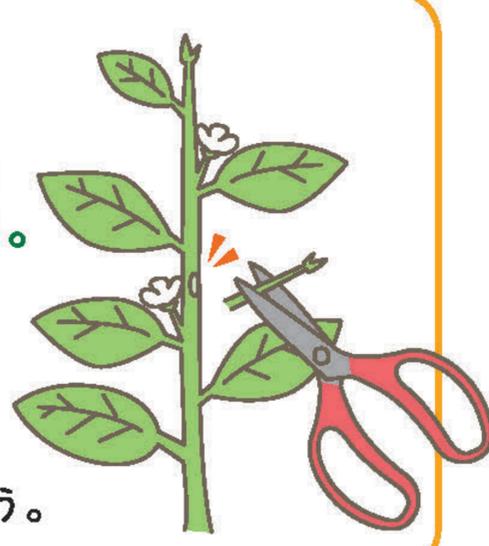
日当たり・水はけ・
風通しのよい場所が
おすすめです。
鉢植えの場合、7合以上の
鉢に植えましょう。



④ 剪定

木が大きくなってきたら
枝を切り落としましょう。

剪定には形を整える・
大きさを抑える・風通しを
よくする効果があります。
木にあわせた適切な
タイミングで剪定しましょう。



※肥料(化成肥料や油かす等)は、植え替え後、根がしっかり伸びたあとに与えると効果的です。